

新型コロナウイルス感染症との共生の取り組みの模索が続く中、紛争による国際情勢の変化に伴うエネルギー価格や物価の高騰の影響等により、生活を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした状況を踏まえ、区では、住民に最も身近な基礎自治体として、これまで以上に、区民の皆様のご意見・ご要望に耳を傾け、必要な支援策を着実に実行し、皆様が安心して暮らすことができるよう、迅速かつ丁寧に取り組を進めて参ります。

令和5年度予算案は、このような思いで施策を具体化したものです。区民の皆様一人ひとりに寄り添う温かい行政を目指し、明るい未来に向かって着実に歩を進めて参りたいという思いを込め、編成しました。

主な施策としては、区民の命と安全・安心を守る取り組みとして、新型コロナウイルス感染症対策では、国の動向を踏まえつつ、関係機関と連携して医療提供体制を維持するとともに、万全なワクチン接種体制を整備する等、今後も柔軟かつ迅速に対応します。災害対策では、新たな防災スポットの整備に加え、危険な老朽空き家の除却や空き家の利活用の促進等により、地域のさらなる防災性の向上を図ります。交通安全対策では、安全な自転車走行区間の整備を進めるとともに、区内警察署等と連携し、自転車交通ルールの啓発活動を強化します。

子育て家庭・若者支援に関する取り組みでは、区立幼稚園における給食の提供を開始するとともに、区立小・中学校の給食を無償化します。さらに、医療的ケア児等の受入体制の整備に対する支援に加え、児童養護施設等を退所する若者の自立支援や、すべての若者に対する相談支援体制の強化を図ります。

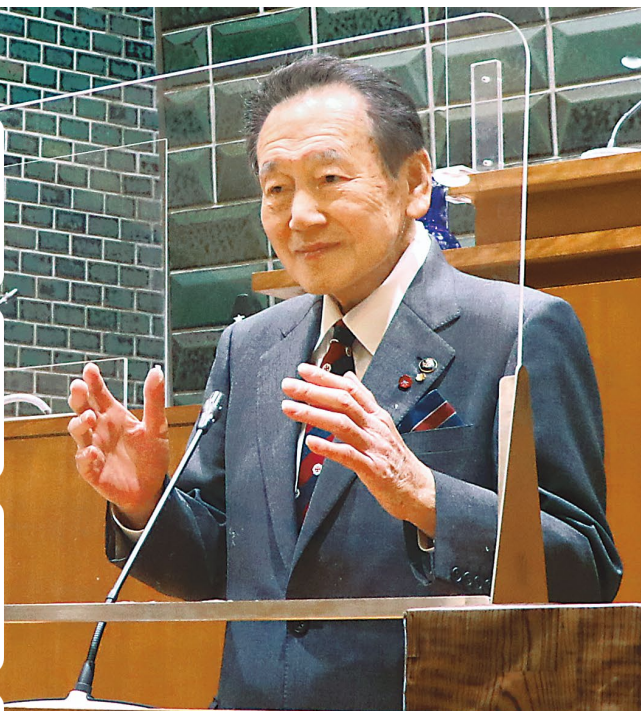
福祉に関する取り組みでは、在宅高齢者に向けたきめ細かな支援を拡充するとともに、区内の居宅介護支援事業所を支援することにより、質の高い介護サービスを安定的に提供します。さらに、グループホームの整備補助の拡充や荒川たんぽぽセン

一人ひとりに寄り添い、 明るい未来へ 歩を進める予算

2月15日、西川区長は、令和4年度荒川区議会定例会・2月会議で、今後の区政運営の方向性と令和5年度予算の編成方針・重点施策を示しました。令和5年度の一般会計予算は、1133億7000万円です。

問合せ

総務企画課企画係
☎内線2111



ターの児童発達支援センター化に向けた取り組み等により、障がい者に対する支援の充実・強化を図ります。

産業振興に関する取り組みでは、脱炭素に向けた経済と環境の好循環を実現するため、中小事業者の設備投資を積極的に支援するとともに、回復基調にあるインバウンド需要等に対応するための受入体制の充実を図ります。

環境に関する取り組みでは、地球温暖化対策の取り組みをさらに推進するため、新築の省エネ住宅に対する助成を開始するとともに、エコ助成制度を拡充します。さらに、都内広域連携による森林環境の整備を促進し、CO₂の削減を図ります。

まちづくりに関する取り組みでは、「読書を愛するまち・あらかわ」の理念を一層深め、豊かな心を育む読書のまちづくりをさらに推進していきます。また、あらかわ遊園スポーツハウスのリニューアルに着手するほか、宮前公園の南側エリアの整備を進めます。

これらの施策が、区民の皆様の幸福実感に着実に結び付けられるよう、全力で取り組んで参りますので、より一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。(要旨)

2・3面で、令和5年度予算案を紹介します

新型コロナウイルス感染症

感染対策の徹底にご協力を

感染拡大を防ぐため、引き続き、基本的な感染対策の徹底にご協力を願います。なお、発熱等の症状で、救急車が必要か迷ったときは、東京消防庁救急相談センター(☎#7119〈24時間・年中無休〉)に相談してください。

問合せ

保健予防課感染症予防係 ☎内線430

感染したときに備えて医薬品等を備蓄しましょう

備蓄例

- ▶市販の新型コロナウイルス抗原検査キット
(体外診断用医薬品または第1類医薬品の表示があるもの)
- ▶市販の解熱鎮痛薬
- ▶衛生用品(手指消毒剤・洗剤・ごみ袋・マスク等)
- ▶生活必需品(トイレットペーパー・ティッシュ等)
- ▶体温計

令和5年度 予算案

令和5年度の一般会計予算は、区民の皆さんの安心につながる取り組みに重点的に予算を配分するとともに、既存事業の見直しに努めました。この結果、予算額は前年度と比べ5.8%増の1133億7000万円となりました。

問合せ 財政課 ☎内線2121

各会計の予算額

一般会計	1133億7000万円
国民健康保険事業特別会計	234億9900万円
後期高齢者医療特別会計	55億1600万円
介護保険事業特別会計	191億4500万円
計	1615億3000万円

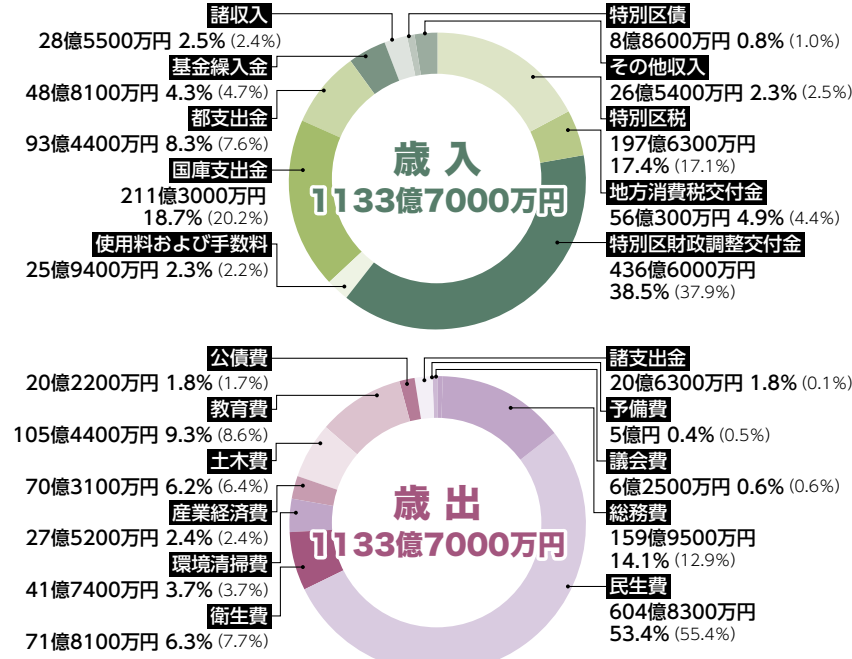
区の予算の使いみち

令和5年度の区の一般会計予算の総額を1000円と見なして、分野別に使う金額を示したものです。

民生費	534円	高齢者・障がい者等の福祉や子育て支援のために
総務費	141円	安全・安心や区民施設の運営、文化振興等のために
教育費	93円	学校や幼稚園の運営等のために
衛生費	63円	区民の皆さんの健康を守ること等のために
土木費	62円	公園や道路の整備、再開発等の街づくりのために
環境清掃費	37円	清掃や環境保護、リサイクル事業等のために
産業経済費	24円	産業や観光の振興、就労支援等のために
議会費	6円	議会の運営等のために
その他	40円	区債や基金の管理等のために

歳入・歳出の内訳

※()内は、令和4年度当初予算の構成割合



予算案の重点施策

各重点施策の詳細は、荒川区ホームページ(右の二次元コード)をご覧ください。



区民の命と安全・安心を守る取り組み

新型コロナウイルス感染症対策 26億5894万円

国の動向を踏まえ、自宅療養者の異変に素早く対応するため、関係機関と連携し、医師の往診や看護師の自宅訪問等を実施します。

また、陽性患者が必要な入院治療を受けられるよう、引き続き、医療機関と連携して区民のための独自病床を確保します。

さらに、希望する方が適切にワクチン接種を受けられるよう、万全な接種体制を整備します。

災害対策の強化・充実 9735万円

災害時の被害を軽減するため、延焼の遅延に効果があるオープンスペース「防災スポット」や、枯渇しない消火用水として活用できる「永久水利」の整備等を行います。



自転車交通安全対策の充実 4032万円

自転車専用通行帯やカラーの滑り止め舗装等、安全な自転車走行空間の整備を進めます。また、自転車の正しい利用ルールを学べる動画を作成します。



空き家対策事業の充実 3707万円

危険な空き家をなくすため、空き家の所有者調査や解体費の助成を充実します。また、街の魅力や住環境の向上を図るため、老朽度が低い空き家の利活用を促します。

地域福祉の向上に向けた取り組み

在宅高齢者に向けたきめ細かな支援の拡充 7236万円

シルバーカーやシャワーベンチ等、歩行・入浴を支援する福祉用具の給付品目の拡大や、補聴器購入費助成事業の対象者の拡大、緊急通報システムの通信手段の充実によるきめ細かな対応により、高齢者が安心して生活できるよう支援します。

介護サービス人材確保事業 976万円

介護サービスのマネジメントを行うケアマネジャーの人材を確保するため、区内の居宅介護支援事業所を対象に資格取得・更新費用を全額補助します。

子育て家庭・若者への支援

ケアリーバー支援の実施 500万円

児童養護施設等を退所する若者(ケアリーバー)の就職・進学時に、家具・家電等を購入するための支度金を支給します。また、住宅を借りる際の保証料や、就職先での活用や将来のキャリアアップにつながる資格、自動車運転免許の取得費用を補助します。

若者相談支援体制の整備 3320万円

若者から相談を受け付け、適切な支援機関につなぐ荒川区若者相談「わっか」で、LINEを活用した相談を開始します。また、若者支援に携わる関連部署の連携をより一層充実するとともに、関係機関・団体と地域ネットワークを構築し、一人ひとりの悩みに寄り添った若者支援を推進します。

医療的ケア児等への支援の実施 9392万円

集団保育を希望する医療的ケア児を受け入れできるよう、区内保育所等の体制整備を支援します。また、「留守番看護師派遣事業」の対象拡大を継続し、医療的ケアを日常的に受けている児童を支援します。

区立幼稚園給食の開始 2503万円

幼児教育の充実を図るため、区立幼稚園8園で、弁当形式による給食を提供します。

学校給食の無償化 7億5383万円

質の高い学校給食を安定的に提供するとともに、物価高騰等による保護者負担の軽減を図るため、区立全小・中学校で学校給食の無償化を実施します。



重度障がい者に対する支援の充実 3153万円

障がい者が安心して暮らせるよう、重度障がい者の居住の場であるグループホームの整備費の補助制度を拡充します。また、日中の活動の場である生活介護施設の整備費の補助制度を新設します。

荒川たんぽぽセンターの児童発達支援センター化 6034万円

荒川たんぽぽセンターを地域の障がい児支援拠点施設として位置づけ、発達障がい児や発達が気になる未就学児に対する療育支援や、障がい児やその家族の相談、障がい児を支援する施設への援助等を行う「児童発達支援センター」への移行に向けて機能を拡充します。

地域産業の振興

中小企業G×経営推進支援事業 3476万円

「経済と環境の好循環」を目指すグリーントランスフォーメーション(GX)につながる設備等の導入経費を補助し、脱炭素経営に取り組むことによるブランド構築を通じた競争力強化・コスト低減による経営基盤強化を支援します。

インバウンドの受入体制の強化 718万円

増加が見込まれる外国人観光客に対し、新たにデジタルコンテンツを作成し、荒川区の魅力を発信します。また、日暮里観光案内所をリニューアルし、旅行者に対してのホスピタリティを向上させます。

脱炭素社会の実現に向けた取り組み

地球温暖化対策の充実 4454万円

太陽光発電によるエネルギーの創出等によってエネルギー収支がゼロ以下になる「ZEH」住宅への補助制度の新設や、集合住宅でも導入可能で高い省エネ効果が期待できる高断熱窓への改修費用の補助制度を拡充し、地球温暖化対策の充実を図ります。

森林関連事業の充実 770万円

都内広域連携による森林整備事業に参画し、将来的なカーボンオフセットおよび森林体験の場の創出に取り組む等、区民が自然や環境に触れ・学ぶ機会の充実を図ります。



にぎわいあふれるまちづくり

豊かな心を育む読書のまちづくりのさらなる推進 1億4542万円

事業者・団体が一緒に読書を応援する「(仮称)読書パートナー制度」の導入等、地域が一体となって、あらゆる世代が生涯にわたり豊かな心を育む読書のまちづくりを推進します。



あらかわ遊園スポーツハウスのリニューアル 5832万円

令和7年度のリニューアルオープンに向けて、バリアフリー化や親子で遊べるスペースの新設等、幅広い世代が利用しやすいスポーツ施設を目指した基本・実施設計を行います。

宮前公園第三期の整備 5452万円

天候に左右されずに利用できる広場や、車いすの方も遊べるインクルーシブ遊具のある広場等を設け、幅広い世代が楽しめる魅力的な公園を整備します。また、災害時には、隣接する令和あらかわ病院と連携して災害活動の拠点として活用できるよう、永久水利やマンホールトイレ等の防災設備も整備します。

区議会の委員会質疑の模様をケーブルテレビで放送します

令和4年度荒川区議会定例会・2月会議「予算に関する特別委員会」の総括質疑の模様をCATVマイチャンネルあらかわ(地デジ11ch)で放送します。また、荒川区ホームページでも配信します。

総括質疑は、区議会の各会派を代表する議員が、あらかじめ割り当てられた時間で区長等に質問をするものです。

放送日時	3月13日(月)~19日(日)
放送日時	▶午前9時~11時 ▶午後6時~8時
	※1日に2回放送
問合せ	議会事務局企画調査係 ☎内線3616

引っ越しの書類をスマートフォンで作成できます

国内での引っ越し(転入・転居・転出)の際、各種書類を事前にスマートフォン等で一括作成できます。区役所で複数の書類を記入する必要がなくなります。ぜひ、ご利用ください。

開始日	3月1日(火)
取扱施設	区役所1階戸籍住民課 ※各區民事務所では利用できません
利用方法	1専用サイト (https://arakawa-shinsei.web-mado.com/jyukiido <右の二次元コード>) にアクセスし、必要事項を入力
	2入力後に表示される二次元コードを、窓口で見せる
問合せ	戸籍住民課住民記録係 ☎内線2362



ルールを守って 明るい選挙

政治家の寄附は禁止されています



◀明るい選挙のイメージキャラクター・選挙のめいすいくん

政治家が、選挙区内の人に対して寄附をすることは、罰則をもって禁止されています。また、政治家以外の人政治家名義の寄附をすることも禁止されています。

禁止されている主な寄附

- ▶卒業・入学祝い
- ▶町内会の催し物への寸志・飲食物の差し入れ
- ▶本人が出席しない結婚祝い・香典
- ▶葬式の花輪・供花
- ▶落成式・開店祝いの花輪 ▶病気見舞い

有権者の政治家に対する寄附の勧誘・要求の禁止

政治家に対し、寄附するように勧誘や要求をすることは禁止されており、罰則の対象となります。また、政治家名義の寄附を求めることも禁止されており、威圧して求めると罰則の対象となります。

政治家への案内状には会費の明示を

実費を伴う行事や会費が必要となる催しの政治家への案内状には、必ず会費を明示してください。

問合せ 選挙管理委員会事務局 ☎内線3411

選挙啓発機関誌 えらぼうと

選挙管理委員会では、明るい選挙の啓発事業の一環として、啓発機関誌「えらぼうと」を発行しています。区内の各公共施設のほか、荒川区ホームページ(右の二次元コード)でも閲覧できます。



出産・子育て
応援交付金事業

妊娠中・子育て家庭の方を応援します

助産師・保健師等による面接

安心して出産・子育てができるよう、妊娠中や産後の方等を対象に、助産師や保健師が面接等を行います。

●妊娠初期（ゆりかご面接）

妊娠届を提出する際に、助産師・保健師が個別に面談し、支援プランを作成します。また、出産に向けた準備や利用可能なサービスの紹介、地域情報の提供等を行います。

●妊娠後期

妊娠7か月ごろにアンケートを送付し、妊娠中の状況を確認します。希望する方等には、面接等を行い、必要に応じて情報提供を行います。

●出産後（産婦・新生児訪問）

出産後4か月を迎えるまでに、お子さんが生まれた全家庭に助産師・保健師が訪問します。母子の健康状態を確認し、相談に応じます。

出産・子育て応援ギフト

ゆりかご面接および産婦・新生児訪問を終えた方に、育児用品等に交換できる出産・子育て応援ギフトカードを差し上げます。

配付時期 配付物

- ゆりかご面接後………出産応援ギフトカード5万円分
- 産婦・新生児訪問後…子育て応援ギフトカード5万円分
※新生児1人につき

※各応援ギフトカードの申請書を面接・訪問時に配付します。申請後、各応援ギフトカードを送付します

※令和4年4月1日～令和5年2月28日に妊娠届を提出した方には出産応援ギフトカードの申請書を、出産した方には各応援ギフトカードの申請書を順次送付します

乳幼児健診

4か月・1歳6か月・3歳児健診で、小児科医・歯科医・保健師・栄養士・歯科衛生士・心理士が発育・発達・育児の相談に応じます。

問合せ

健康推進課健康推進係 ☎内線433

あらBOSAI2023

期間 3月3日(金)～19日(日)

防災に関する知識・技術を楽しみながら学べるイベントです。荒川区ホームページ内の特設ページ（右の二次元コード）でのオンライン開催のほか、区内施設での現地開催で実施します。

問合せ

防災課防災事業係 ☎内線418



オンライン開催

▶中学校防災部ショートムービー ▶東京マイ・タイムライン普及啓発セミナー ▶リモート型防災アトラクション ▶防災コンテスト

現地開催

▶備蓄品の展示…7日分の備蓄品を展示します。

会場

石浜ふれあい館、町屋ふれあい館、西尾久ふれあい館、西日暮里ふれあい館、ひぐらしふれあい館、東尾久本町通りふれあい館、荒川総合スポーツセンター、尾久図書館、ロイヤルホームセンター南千住（南千住4-1-4）、ライフ東日暮里店（東日暮里4-36-20）

▶あらBOSAIクイズラリー…区内の防災施設を巡り、クイズに答えた方に景品を差し上げます。施設の一覧や参加方法等の詳細は、特設ページをご覧ください。

▶中学校防災部による防災プログラム…区内中学校の防災部が防災啓発活動を実施します。参加者には、防災用品を差し上げます。

期 日 3月5日(日)

会 場	時 間	参加校	内 容
ロイヤルホーム センター南千住 ※雨天中止	午前10時～正午	諏訪台中学校 第一中学校	▶初期消火訓練 ▶起震車体験 ▶給水車体験
	午後1時30分～3時30分	南千住第二中学校	
尾久図書館	午前10時～正午	第五中学校 尾久八幡中学校	▶初期消火訓練 ▶応急救護訓練 ▶ワークショップ
	午後1時30分～3時30分	原中学校 第七中学校	
ゆいの森あらかわ		第四中学校 第九中学校	▶応急救護訓練 ▶ワークショップ

3月の健康相談

会 場 がん予防・健康づくりセンター

種 別	期 日	受付時間	申込み・問合せ
なんでも健康相談	随時	午前9時～午後5時	
こころの一般 健康相談	6日(月)	午後1時45分～ 3時15分	健康推進課 保健相談担当 ☎内線432
	10日(金)・16日(休)・ 20日(月)・24日(金)	午後2時～3時30分	
アルコール・ 薬物依存症相談	2日(木)	午後1時30分～3時	
ママのこころの相談	2日(木)	午後1時15分～ 2時45分	
	16日(木)	午前9時30分～11時	
歯科相談(3歳未満児) ～歯科健診とフッ化物塗布	10日・17日・ 24日(の金)	午後1時～3時	健康推進課歯科担当 ☎内線423
栄養相談	2日・9日・16日・ 23日・30日(の休)	午後1時30分～ 3時30分	健康推進課栄養担当 ☎内線423
エイズに関する 相談・検査	相談	随時	保健予防課 感染症予防係専用電話 ☎(3805)9467
	検査	8日(火) (予約制)	

ものわすれ相談(予約制)

対 象 物忘れが気になる、65歳以上の方や家族等

期 日	相談時間	会 場	申込み
6日(月)	▶午後2時～ 2時40分 ▶午後2時50分～ 3時30分	区役所3階特別 会議室	東日暮里地域包括支援センター ☎(5615)3171
9日(木)	▶午後1時30分～ 2時10分	尾久ふれあい館	西尾久地域包括支援センター ☎(3893)3555
16日(木)	▶午後2時20分～ 3時	西日暮里地域包括支援センター	☎(3807)3828

難病相談室(予約制)

会場・申込み 荒川区医師会館（西日暮里6-5-3）
☎(3893)2331

日 時 3月18日(土)午後1時30分～3時
対 象 神経難病の方、その疑いのある方
内 容 専門医・保健師・相談員等による在宅療養上の医療・福祉・介護相談

誰もが生きる喜びを実感できるまちに

3月は自殺対策強化月間

令和3年の全国での自殺者は、前年に比べて減少しましたが、2万1007人の方が自殺によって命を落としています。新型コロナウイルス感染症に伴う精神的な負担等のストレスをため込まずに、可能な限り普段の生活スタイルを取り戻すことが重要です。

【問合せ】 障害者福祉課こころの健康推進係 ☎内線2692

うつ病のサイン・症状

- 憂うつ、気分が重い

● 何をしても楽しくない

● 疲れているのに眠れない

● いつもよりかなり早く目覚める

● イライラして、落ち着かない

● 自分には価値がないと感じる

● 思考力が落ちる

● 死にたくなる
- 食欲がない

● 体がだるい、疲れやすい

● 動悸やめまい

● 頭痛や肩こり

● 体がだるい、疲れやすい

● 胃腸の不調
- 口数が減る、表情が暗い

● 涙もろくなった

● ミスが増える、反応が遅い

● 飲酒量が増える

● 遅刻、欠勤が増える

自殺予防の主な取り組み

- 特設展示

関連する本の展示・貸し出しを行います。

▶ 南千住図書館…3月10日(金)～5月10日(火)

▶ 町屋図書館…3月15日(火)まで
- 「こころといのちのカード」の配布

区役所1階障害者福祉課・区内関連施設で配布しています。

- 一人で悩まず相談してみませんか

● 荒川区こころといのちの相談 (午前8時30分～午後5時15分) …☎(3802)5031

● こころの健康相談…健康推進課保健相談担当 ☎内線432

● 東京いのちの電話 (24時間) …☎(3264)4343

● 東京都自殺相談ダイヤル～こころといのちのほっとライン (正午～翌午前5時30分) …☎0570(087)478
- #いのちSOS (自殺対策支援センターライフリンク) …☎0120(061)338

※(月)・(木)・(金)は午前0時～翌午前0時。(火)・(水)・(土)・(日)は午前6時～翌午前0時

● Bondプロジェクト …☎080(9501)5220 ※(月)・(土)午後6時～9時

…☎070(6648)8318 ※(火)・(日)午後2時～7時

※10・20代女性を中心とした相談窓口

● よりそいホットライン (24時間)…☎0120(279)338
- その他の相談窓口は、荒川区ホームページをご覧ください

あらかわエコジュニアクラブ

メンバー募集

体験型の連続プログラムに参加して、地球環境について学んでみませんか。バスツアー、ワークショップ等、盛りだくさんの内容です。

- 期 日

月1回いずれかの(土) (全12回) ※夏休み期間は(月)～(金)開催もあり
- 時 間

午後2時～4時 ※夜の観察会等、一部講座を除く
- 対 象

4月1日時点で、区内在住・在学の小学4～6年生
- 定 員

15人程度 (抽選)

費 用

無料 ※施設入場料等の実費負担あり

- 申込用紙の配布場所

あらかわエコセンター2階環境課 (荒川区ホームページからもダウンロード可)
- 締切り

3月10日(金)必着
- 申込み問合せ

申込用紙に必要事項を記入し、郵送で、〒116-0002荒川区荒川1-53-20あらかわエコセンター環境課環境推進係 ☎(3802)4693

内 容 (予定)					
4月	発足式・海のサイエンス	7月	動物のワークショップ	10月	荒川の生き物
5月	春のバスツアー	8月	夜の昆虫観察会	11月	クリーンエイド体験
6月	傘のワークショップ	9月	秋の森林バスツアー(埼玉県秩父市)	12月	テラリウム作り
1月	防災のワークショップ	2月	SDGsニュース作り①	3月	SDGsニュース作り②、修了式



秩父の森で間伐の様子

新型コロナワクチン接種にご協力を

新型コロナワクチンは、協力医療機関で接種を受けることができます。接種を希望する方は、協力医療機関へ予約してください。感染拡大を防ぐため、ワクチン接種にご協力をお願いします。

※協力医療機関の一覧は、特設ホームページをご覧ください
※国が定める新型コロナワクチンの接種期間は3月31日(金)までですが、期間の延長が検討されています。詳細は、決まりしだいお知らせします

新型コロナワクチン相談センター
☎0800(666)7777 (午前8時30分～午後5時15分)
※(土)・(日)・(祝)等を含む

特設ホームページ (右の二次元コード)
HP https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a033/covid19_vaccine/index.html



接種後の副反応が気になる方 ▶ 東京都新型コロナウイルスワクチン副反応相談センター ☎(6258)5802 ※24時間・年中無休